

自衛官の命 軽視してないか

元消防職員

(東京都 64)

安全保障関連法の成立で元自衛隊幹部の中谷元・防衛大臣と佐藤正久参院議員が大きな役割を担いました。驚きと危うさを禁じ得ません。防衛

族議員として影響力を持つ彼らが、自衛官の安全を軽視していると思えるからです。

私は消防学校で、教官から「消火・救難中に部下が殉職したり、事故に遭ったりした場合は、自らを最低の指揮者と思え」と言われました。

消防本部に勤務していた時、消防署の隊員が火災現場で殉職しました。病室から聞

こえる奥さんの泣き声は記憶から消えませんが、防火衣を着たままうなだれる署の指揮者の姿も。残されたのは、奥さんと数日前に中学に入学したばかりの男の子でした。

自衛官の多くも、家族を持ち普通の生活をしている方々です。安保法によって、命の危険にさらされることもあるでしょう。米国主導の戦争に駆り出されることが、正当な任務といえるでしょうか。

中谷大臣も佐藤議員も、かつての部下が自衛隊にたくさんいるはずですが、彼らの安全を守ってこそその指揮官です。あなた方の責任は重大です。